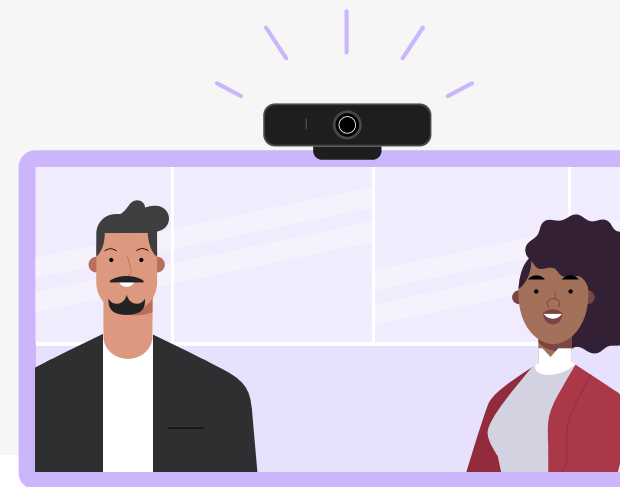
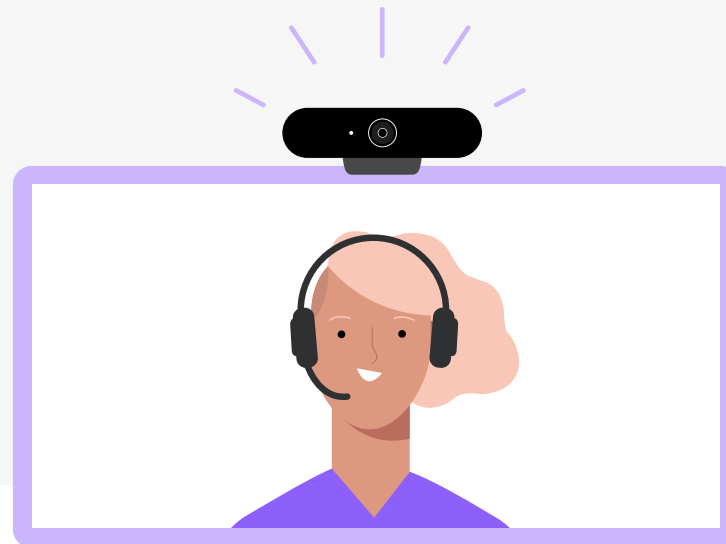
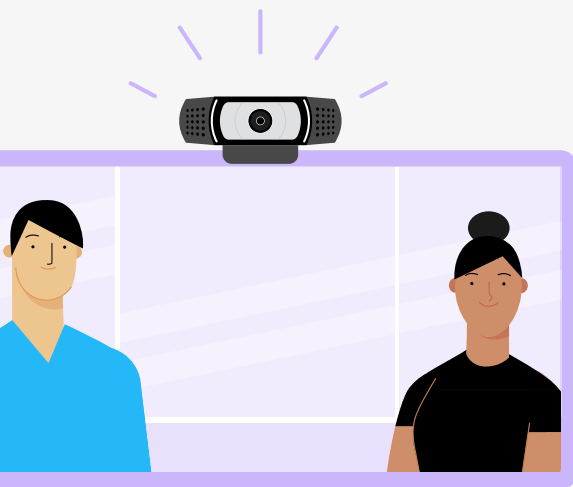
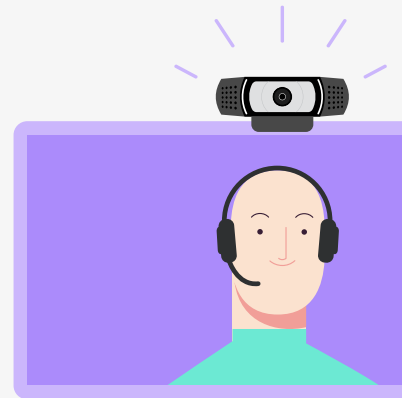
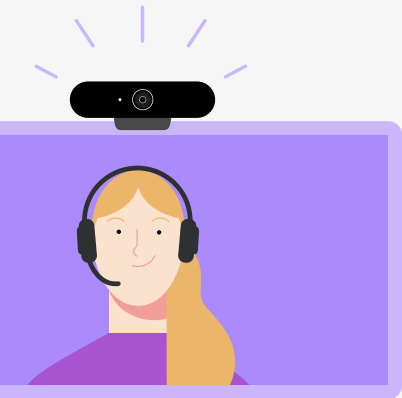


ウェブカメラ 現代の従業員に不 可欠なツール

どこからでも対面でつながれる



logicool

ウェブカメラ を全従業員の ツールにすべ き理由

ウェブカメラに投資すべき理由

- なぜウェブカメラを支給すべきなのか？その理由はつまり、「ユーザーアダプション」 1
- ウェブカメラとノートPC内蔵カメラの違いは？
比較になりません 2

ウェブカメラで注目すべき点

- コストがかかってでもユーザー体験を重視すべき理由 3
- 認定 - 品質の保証 4
- サポートが必要になった場合はどうなる？ 5
- ウェブカメラだけではないソリューション 6

ロジクールを選ぶ理由

- 40年にわたりウェブカメラのイノベーションに携わる 7

働き方の未来を見据える組織では、新しい、そしておそらく今後定番となっていく、ハイブリッドな働き方のモデルへ移行しはじめています。オフィスでフルタイムで働く人の数が減る一方、リモートで（少なくともパートタイムで）働く人の数がますます増えています。

こうした環境では、ビデオが引き続き、会議やチームコラボレーションにとって必要なテクノロジーとなります。リモートで働くときは、すべての従業員に、ビデオ会議に自信をもって、安心して参加できるツールが必要です。

こうしたツールの1つが優れたウェブカメラです。本書で説明している内容は、IT部門が、ウェブカメラとノートPCのカメラの違いや、どのウェブカメラを従業員に推奨すべきかを検討する際にきっと役に立つはずです。

なぜウェブカメラを支給すべきなのか？その理由は「ユーザーアダプション」

テクノロジーの採用は、ユーザー体験から大きく影響を受けます。このことは、ビデオにも当てはまります。ユーザーは、自分が画面にどう映るかを気にします。ウェブカメラを使うと、ユーザーはビデオ会議中、[ベストな状態で映る](#)ことができます。

自分が映る姿に自信を持っている人は、カメラのスイッチをオンにしてビデオ会議に積極的に参加する傾向があります。そうしたユーザーは、IT部門が投資したビデオテクノロジーを利用する可能性も高くなります。



- ✔ ウェブカメラは概して、ノートパソコンの内蔵カメラよりも優れた体験を提供できます。
- ✔ 一貫した高品質な体験により、従業員は、家でもオフィスでもベストな状態でビデオに映ることができ、画面上の自分の姿に安心感を覚えます。
- ✔ 高画質・高音質の専用ウェブカメラは、ビデオ会議の利点をさらに高め、[従業員の生産性向上と社会的なつながりを促します。](#)



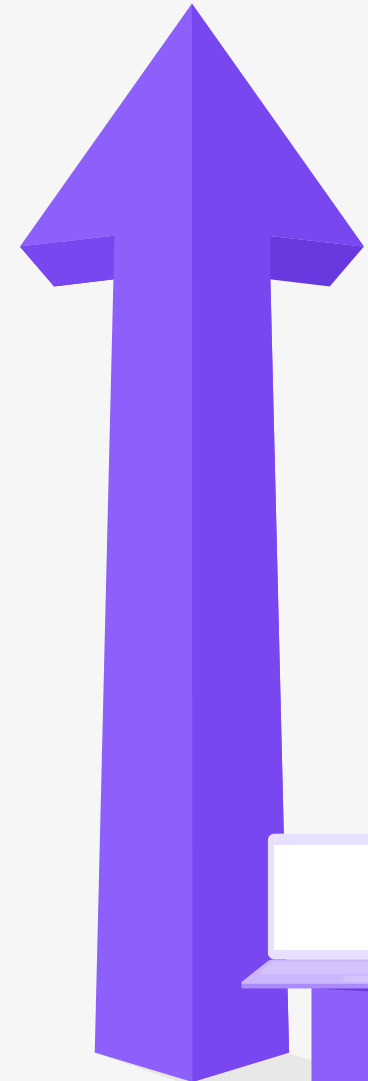
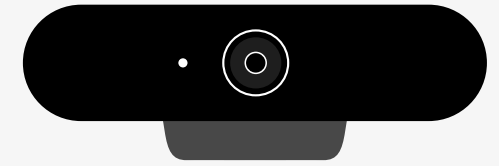
ウェブカメラとノートPC 内蔵カメラの違いは？ 比 較になりません

ノートPCに内蔵されたカメラの質と機能は、限定的かつ一定ではありません。最高品質のノートPCのカメラでも優れたウェブカメラとは比べものになりません。ウェブカメラには、ノートPCには含まれない、従業員が重視する数多くの機能が備わっています。

要件*

		
自身の品質要件に適したカメラを、幅広い種類の中から選べるか？	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カメラは、ビデオ会議専用に設計されているか？	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カメラは、ビデオソフトウェアのアプリケーションで認定されているか？	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
画質と音質を強化する機能があるか？	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
光量が足りないときに設定で調節できるか？	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カメラの角度を調節して最適な視野を獲得できるか？	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ノートPCを閉じているかドッキングを利用しているときにカメラを使えるか？	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
IT部門がカメラを簡単に管理でき、トラブルシューティングに対応できるか？	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カメラには、ユーザーが安心して利用できるためのプライバシーシャッターがあるか？	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
問題が発生した場合の保証やサポートが付いているか？	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

*一般的な外付けウェブカメラのパフォーマンスと、一般的なノートパソコン内蔵カメラのパフォーマンスに基づく。

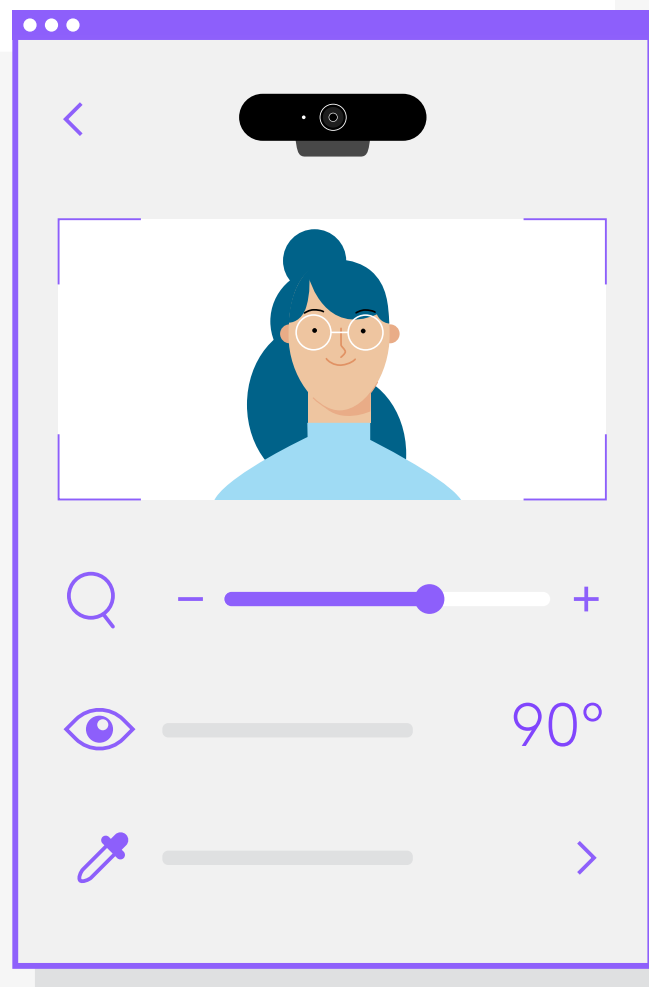


コストがかかってもユーザー体験を重視すべき理由

従業員に専用のウェブカメラが必要であることがおわかりいただけただけでしょうか。しかし、さまざまなブランドがある中で、どれを選べばよいのでしょうか？まず、ユーザー体験の検討から始めます。優れたユーザー体験は画質と音質にかかっています。したがって、画質と音質を最優先事項にします。

- ✔ 高品質なウェブカメラは、微光から逆行まで、さまざまな光の条件に対応し、被写体をはっきりと目に見える形で映し出すことができます。
- ✔ ノイズキャンセリングマイクは、背景の雑音を増幅することなく音声をクリアにキャプチャできるため、自然かつクリアな音声での会話を可能にします。
- ✔ 4Kまたは1080pの高解像度レンズにより、目の前にいるかのような臨場感を生み出します。
- ✔ 画角を調節することで、自分をフレーミングをして背景を最小限に抑えたり、あるいは、必要に応じてその場全体を画面に収めたりすることができます。
- ✔ [Logi Tune](#)のようなソフトウェアアプリケーションを使うと、ウェブカメラの設定をカスタマイズして、フレームや、フォーカスの調整、カラープリセットの選択が行えます。

音声や映像の質が低いと、気が散ってしまい、すべての人のユーザー体験が低下してしまいます。ウェブカメラは生産性向上のための投資です。



認定 - 品質の保証

従業員は認定を気にすることはまずありませんが、IT部門はそうはいきません。Google Meet、Microsoft Teams、およびZoomなどのビデオ会議ソフトウェアの認証を受けたウェブカメラによって、問題のない会議を確実に実現できます。リモートユーザーに認定済みの機器を提供することは、IT部門がトラブルシューティングに直接対応できない場合に、とりわけ重要になります。

- ✔ ノートPCの内蔵カメラは、通常、ビデオ会議のプラットフォーム向けに認定されていないため、うまく連携できるかという点で不安が残ります。
- ✔ 認定は、カメラのパフォーマンス、品質、ビデオ会議用ソフトウェアとの併用で利用可能な拡張機能を保証するものです。
- ✔ ベンダーの承認により相互運用性が保証され、問題やトラブルチケットが発生する可能性が少なくなります。



購入したビデオ会議用製品は、この先も引き続き使えますか？認定は、将来発生する問題に対する保険のようなものです。相互運用性に対するベンダーのコミットメントを示すものでもあります。

サポートが必要になった場合はどうなる？

多くの従業員がリモートで働く一方、社内で働く従業員もいて、自宅とオフィスの移動がますます増えていきます。異なる環境で働く従業員をサポートすることが大きな課題となってきました。ウェブカメラやヘッドセットなど、在宅勤務用のツールを標準化のセットとして従業員に提供することにより、このような負荷を軽減することが可能です。

- ④ ウェブカメラを従業員に選択させるのではなくセットとして標準化することで、ユーザーがサポートを必要とした場合のIT部門の作業を軽くすることができます。
- ④ グローバルに展開しており、複数のパートナーと連携しているベンダーであれば、IT部門は、リモートの従業員がどこにいてもより良いサポートを提供することができます。
- ④ グローバルの組織である場合：リモート環境にいる従業員に問題が発生した場合に、世界のどこにいてもベンダーからサポートを受けられる確信はありますか？
- ④ その他の検討事項：サポートに関するベンダーの実績は？一貫性や品質への評価はどの程度か？ベンダーの製品保証期間は？

企業の中には、ウェブカメラやその他オンラインのコラボレーションツールを、従業員自身に購入させているところもあります。このやり方では、適した製品を指定しない限り、サポートチームの悩みが増える可能性があります。

ウェブカメラで注目すべき点

ウェブカメラだけではないソリューション

さまざまなベンダーのウェブカメラを評価するときは、常に全体像を見ておく必要があります。ウェブカメラは、高品質な在宅勤務ツールや会議室用のビデオ会議システムといった、従業員のコラボレーションにおけるより大きな戦略の一部とみなすべきです。

- ④ ウェブカメラは、キーボードやマウス、ヘッドセット、アクセサリといったものが含まれる、従業員のコラボレーションツールセットの1要素です。
- ④ ビデオ会議製品のポートフォリオを導入し、従業員に一貫した体験を提供します。
- ④ デスクトップから役員会議室まで、あらゆるワークスペース向けのソリューションを提供し、それらがシームレスに連動するよう設計している信頼できるベンダーと提携することを検討しましょう。

ニーズは従業員ごとに異なります。CEOと夏季インターンに同じウェブカメラを提供するとは限りません。そのウェブカメラのベンダーは、幅広いユースケースの目的にかなうポートフォリオを提供していますか？



ロジクールを選ぶ理由

40年にわたりウェブカメラのイノベーションに携わる

ウェブカメラのテクノロジー分野に初期から携わるパイオニアであり、世界初のUSB会議用カメラの開発者であるロジクールは、ビデオ会議の改革に一貫して取り組んできました。当社のベストセラーとなったウェブカメラは、人々の生産性と効率性、そしてコラボレーションを向上させます。個人のワークスペースと会議室との両方に対応したソリューションを提供し、組織を越えた人々が、どこにいても顔を合わせてつながるようにすることで、どこからでも仕事ができるよう持続的な移行をサポートします。

- ✔ ロジクールの企業向けウェブカメラは、主要なビデオ会議ソフトウェアプロバイダーとシームレスに動作することが認定されており、あらゆるユーザーの目的に対応した幅広い選択肢をご用意しています。
- ✔ ロジクールの高品質なウェブカメラに対する評価は、レンズ、マイク、その他コンポーネントの設計と製造における妥協のない精度の結果です。
- ✔ ビデオ会議室ソリューションの当社の専門性により、ユーザーは自宅とオフィスを行き来する場合でも、シームレスなビデオ会議を体験できます。
- ✔ ロジクールのウェブカメラは長年にわたり、[米国シカゴ・グッドデザイン賞](#)や[International Design Awards](#)などの権威あるデザイン賞を受賞しています。



ロジクール®のソリューションによって、企業は未来のワークプレイス・コラボレーションに適応することができます。当社は、生産性を妥協することなく、どこからでもチームがコラボレーションを行えるよう支援します。詳細：
www.logicool.co.jp/vc

logicool.

www.logicool.co.jp/vc

購入前のお問い合わせ：

株式会社ロジクール
<https://www.logicool.co.jp/ja-jp/videocollaboration/help/contact-sales.html>

購入後のお問い合わせ：

株式会社ロジクールカスタマーリレーションセンター
<http://www.logicool.co.jp/contact>

発行：2021年3月

© 2021 Logitech, Logicool. All rights reserved. 株式会社ロジクールは、Logitech Groupの日本地域担当の日本法人です。記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。その他の商標はすべて、それぞれの所有者の財産です。ロジクールは、この出版物に存在する可能性のある誤記に対して一切責任を負うことはありません。本書に含まれる製品、価格設定および機能情報は、通知なしに変更される場合があります。